

令和7年度 特別展

世田谷の用水

2025年 10月25日(土) → 12月21日(日)

【関連イベント】

特別展関連講座「大東京の水事情－100年前の世田谷を中心に－」

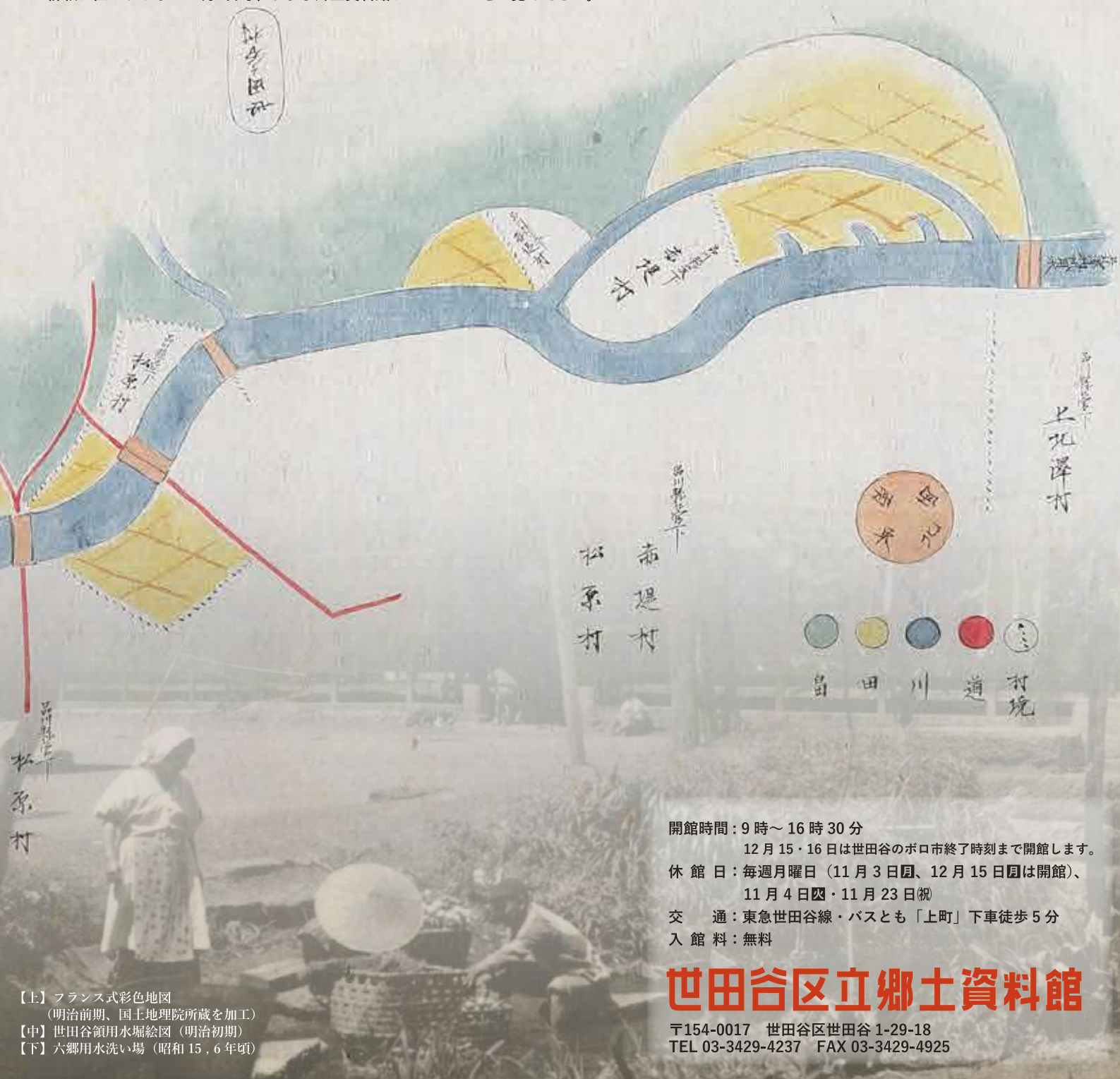
日時：12月7日(日) 14時～16時

講師：松本洋幸（九州大学教授）

会場：世田谷区立郷土資料館 / 定員：40名 / 対象：区内在住・在学・在勤者 / 受講料：500円

申込期間：11月1日(土)～10日(金)必着 / 申込方法：オンライン手続き、または往復はがき

詳細は区のおしらせ11月1日号、および郷土資料館ホームページをご覧ください。



開館時間：9時～16時30分

12月15・16日は世田谷のボロ市終了時刻まで開館します。

休館日：毎週月曜日（11月3日(日)、12月15日(日)は開館）、
11月4日(火)・11月23日(祝)

交通：東急世田谷線・バスとも「上町」下車徒歩5分
入館料：無料

世田谷区立郷土資料館

〒154-0017 世田谷区世田谷 1-29-18
TEL 03-3429-4237 FAX 03-3429-4925

【上】フランス式彩色地図
（明治前期、国土地理院所蔵を加工）
【中】世田谷領用水堀絵図（明治初期）
【下】六郷用水洗い場（昭和15、6年頃）

世田谷の用水

会期：2025 年 10 月 25 日(土)～12 月 21 日(日)

かつて世田谷区内には、六郷用水や品川用水をはじめ、多くの用水が流れていました。これらの用水は、農業用水や飲用水、生活用水として利用され、人々の暮らしと密接にかかわっていましたが、現在では、多くがその役目を終え、埋め立てられたり緑道となったりしています。

本展では、区内を流れていた用水路の開削の歴史や維持管理のあり方、水路沿いに設置された水車や洗いの様相を絵図や古文書から紹介します。そして、近代以降、区域の人口が増加し、宅地化が進むにつれて、用水路が排水路となるなど姿を変えていく様子を取り上げ、用水を切り口として世田谷の歴史を見ていきます。



用水路願書諸留記ほか一括（慶応～明治期）

【関連イベント】

◆ 特別展関連講座 ◆

「大東京の水事情－100 年前の世田谷を中心に－」

日時：12 月 7 日（日）14 時～16 時

講師：松本洋幸（九州大学教授）

会場：世田谷区立郷土資料館 受講料：500 円

定員：40 名 対象：区内在住・在学・在勤者

申込期間：11 月 1 日(土)～10 日(金)必着

申込方法：オンライン手続き、または往復はがき

詳細は区のおしらせ 11 月 1 日号、郷土資料館ホームページをご覧ください。

<https://www.city.setagaya.lg.jp/02423/9013.html>

◆ ギャラリートーク（展示解説）◆

11 月 8 日(土)、11 月 29 日(土)の各日 14 時から 30 分程度（当日先着 15 名、30 分前より受付開始）

世田谷デジタルミュージアム

<https://setagayadigitalmuseum.jp/>



世田谷
区立
郷土資料館

〒154-0017 世田谷区世田谷 1-29-18
TEL 03-3429-4237 FAX 03-3429-4925

第 1 章 用水の開削



①



②



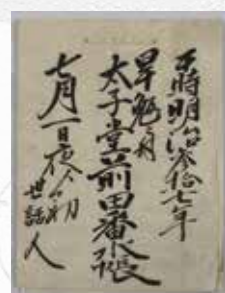
③

- ① 六郷用水流域図（明治初期）
- ② 用賀村水溜絵図（江戸後期）
- ③ 北沢用水絵図（明治期）

第 2 章 用水の維持管理

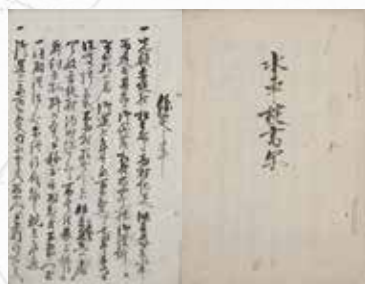


④ 世田谷領用水堀絵図（明治初期）



⑤ 干魃につき
太子堂前田番水帳
明治 37 年（1904）

第 3 章 様々な用水利用と宅地化の進展



⑥



⑦

- ⑥ 水車掟書 明治 8 年（1875）
- ⑦ 大蔵永安寺前の六郷用水（昭和 10 年頃か）
- ⑧ 改修された烏山用水（『整理地の展望』昭和 12 年より）



⑧

※①②④と表面の世田谷領用水堀絵図は大場代官屋敷保存会所蔵

